

南の風



柏市立風早南部小学校
校長 伊藤 喜美子



<学校教育目標>

『自ら考え判断し、
表現する子』

【目指す児童像】

- 自ら考える子
- 自ら判断する子
- 自ら表現する子



充実した2学期となりました。



今年は、暑い日もあった秋の日々でしたが、校庭の木々の葉も落ち、ようやく冬の訪れを感じるようになりました。早いもので、もう2学期の終業式。大きな事故もなく本日を迎えられたことは、ひとえに保護者の皆様や地域の方々のご理解とご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

さて、今学期は「自ら考える」ということを重点として取り組んできました。授業や生活の中で、多くの「自ら考えている」姿や場面が見られました。本日の終業式の中で、2学期を振り返りながら紹介しました。

まず、先月の全校集会で紹介した学校の守り神「もへじ君」について、この話のあとすぐに「教室の守り神だよ」と言って、教室に掲示している学級がありました。また、雑巾かけの話から、白衣や水筒をきれいに整頓できるような掲示をしている学級もありました。そして、感心したのは、修学旅行や林間学校を始め、校外学習の時に、どの学年も実行委員を立て、めあてやしおりの作成、バスレク等子どもたち自身が考えていたことです。出発や到着の会など大変立派に行っていました。



各学年の生活科や総合的な学習の時間も充実した体験や学習ができました。1年生は、学校探検で自分で聞きたいことを決めて、グループで探検し質問することができました。2年生は、町探検をとおして、地域の方を学校に招いて、インタビューをしたり、お店などを訪ねて気づいたことをまとめたり、また野菜作りにも挑戦しました。3年生は、柏市の特産のかぶを栽培し、しょうなん道の駅で販売するために、値段を決めたり、レシピを調べたり自分たちで進める姿が見られました。4年生は、下水道教室や醤油づくりの体験をとおして、手賀沼の環境問題や地域の産業について自ら課題をもって取り組んでいました。5年生は、米の栽培に挑戦しました。苗を育てるところからはじめ、田植え、稲刈り、脱穀、精米と自分たちの力で取り組み、最後に炊いて実食しましたが、甘くておいしいお米になりました。6年生は、地域の良さを発見するために柏市の文化課の方を講師に招き、学区のフィールドワークをしました。「藤ヶ谷十三塚」「鮮魚街道常夜灯」「金毘羅宮」等の見学をし、「五香刃物」を訪れて職人技にも触れました。さらに、頑張ったことや楽しかったことを花のカードに書き「ふわふわの木」に貼り、教室に掲示して、自分たちの行動を振り返り、次の行動につなげていく取り組みをしている学級もありました。



各学年の取り組みだけでなく、「他学年との絆を深めたい！」という児童会役員の思いから「南部っ子クイズラリー」という企画を提案し、縦割り活動のグループで全校から募集したクイズを校内に貼り、答えを集めてキーワードを探すクイズラリーでしたが、他学年との交流や絆を深める仕掛けが随所であり、大いに盛り上がりました。6年生の秋のコンサートも見事でした。多目的ホールで行ったコンサートには、多くの子どもたちが聞きに来て、「どうしたらうまく歌えるようになりますか？」等、終了後に質問している場面も見られました。



子どもたちが自分の力で考え、充実した学習や体験ができたことは、確実に子どもたちの力になっています。そんな子どもたちの生き生きとした姿を見るのが、私も楽しく、大変嬉しく思っております。3学期も子どもたちのさらなる成長を見守っていこうと思います。引き続き皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

